

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横須賀市大滝町二丁目計画	階数	地上15F
建設地	神奈川県横須賀市大滝町2丁目9番11	構造	RC造
用途地域	市街化区域、防火地域	平均居住人員	276人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年1月 予定	評価の実施日	2022年2月26日
敷地面積	767㎡	作成者	株式会社スタイルックス
建築面積	462㎡	確認日	2022年2月26日
延床面積	5,642㎡	確認者	株式会社スタイルックス



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 78%
③上記+②以外の 78%
④上記+ 78%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合 横須賀中央駅近くに位置し、商店街の真ん中の賑わいのある周辺環境で、駅近、商店街という立地と合わせて海や山なども近く建物からの眺望も良いという良環境です。 周辺建物には、新築の共同住宅も多く、ファミリー層や、地元住民の移住者等をメインターゲットに立地の利便性や共同住宅に住まうというメリットを提供し、快適な生活を提供できるような設計としました。		
Q1 室内環境 全住戸にLow-Eガラスを採用し、天井内に断熱材を入れることで高い断熱性能を確保しました。	Q2 サービス性能 維持管理の為に各設備配管には容易に点検が可能な位置に点検口を設け、外壁等の材料には耐候性のある仕上げを採用しました。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の緑地は条例で必要とされる基準よりも多くの植栽を設け、境界線沿いに多く植樹することで街並みとの調和を意識し、周辺の生態系にも寄与するように努めました。
LR1 エネルギー 共用部分の照明には多くのLEDを採用することでエネルギー消費量の削減に努めました。	LR2 資源・マテリアル 0	LR3 敷地外環境 植栽を基準よりも多く設けることで周辺環境へ配慮しました。 各住戸のキッチンには、ディスポーザーを設置し、家庭内から出るごみを削減出来るようにしました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される